



アパレル散歩道 ティータイム特別企画



大阪・関西万博 2025

訪問記 **その6!** -最終回-

BY 清嶋 展弘

「大阪・関西万博 2025」は、10月13日に数々の話題を残して閉幕しました。今回は、アパレル散歩道 ティータイム特別企画“大阪・関西万博 訪問記”の最終回です。日本館をはじめとした各パビリオンの紹介と、まとめとして4つの「万博の意義」を紹介します。(写真も筆者撮影)

■アメリカ館

アメリカパビリオンは、アメリカの科学技術、宇宙開発、教育、起業家精神などをイメージした展示でした。



パビリオン前(星条旗は動画)



パビリオン前 左画面



教育システムの紹介



パビリオンイントロダクション



ロケット発射の大動画面面



最新ロケット技術の紹介

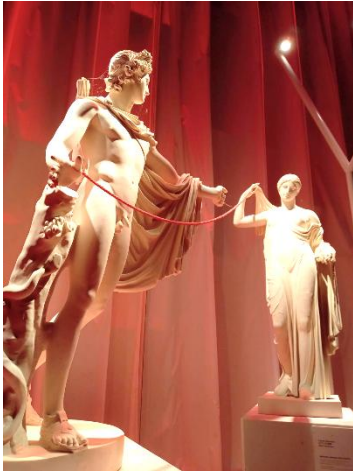
■フランス館

フランスパビリオンのテーマは「愛の讃歌」です。

「赤い糸の伝説」を通じて、自分・他者・自然への愛に導かれる未来を提案していました。



フランスパビリオン夜景



赤い糸の伝説像



「守りの手」
by オーギュスト・ロダン



樹齢千年のオリーブの木
(本国から空輸されました)



クリスチャン・ディオールの有名な 8 ライン。ゆっくりとした肩、
細く絞ったウェスト、長いフレアスカートが特徴。1947 年発表



エッフェル塔が見える
ダンスパフォーマンス大画面

■バーレーン館

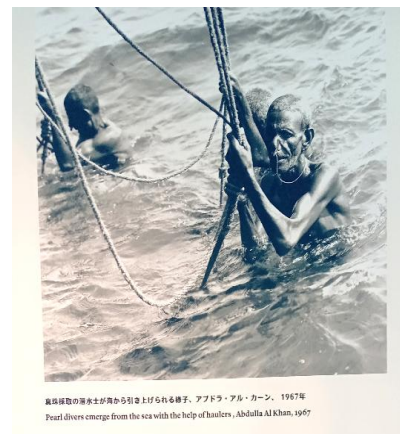
バーレーン王国は、アラビア湾にあり、大小 33 の島で構成される国家です。今回のパビリオンでは、同国の長い歴史や海洋文化を展示と体験で表現していました。



パビリオンの外観



海洋国家のパネル



約 60 年前の真珠取りの様子

■トルクメニスタン館

トルクメニスタンは中東イランの北にある国です。パビリオンのテーマは「より良い明日を作り出す」です。パビリオン外観の丸みのデザインは、「循環」「サステナビリティ」「生命の流れ」を表わしています。館内では、同国の文化や歴史、サステナビリティなどを紹介していました。



パビリオンの外観



大動画パネルによる同国のプレゼンテーション



伝統的な衣装(マネキン)



トルクメニスタンの綿花(種付き)

■ノルディックサークル(北欧) 館

北欧 5 か国共同で出展のパビリオンです。館内では、持続可能な未来と北欧の価値観を紹介していました。



パビリオン外観



サステナビリティに関する
画像プレゼンテーション



ムーミン一家(スウェーデン)

■マルタ館

マルタ共和国は、イタリア・シチリア島の南にある小さな島国です。パビリオン玄関は「時のゲートウェイ」と呼ばれ、マルタの名所を画像で映していました。館内も文化遺産を紹介しながら、21世紀に向けた提案をしていました。



パビリオン入口。「時のゲートウェイ」と呼ばれる。プロジェクションマッピングで画像は適時変化する



マルタと日本の甲冑

左の甲冑はマルタ騎士団。右の甲冑は、幕末に江戸幕府の訪欧視察団が同国に立ち寄った時に寄贈したもの。今回、初めての里帰りとのこと



同国の歴史と文化に関する画像プレゼンテーション



マルタの美食と CISK ラガービール
(ユネスコ無形文化遺産の食事)

ちょっと
ご案内

大阪・関西万博 2025 訪問記 バックナンバー

[第1回 大阪・関西万博 2025 訪問記～地元大阪で開催中の万博に行ってまいりました!!～](#)

[第2回 大阪・関西万博 2025 訪問記 その2！～いろいろな展示とパビリオンの紹介～](#)

[第3回 大阪・関西万博 2025 訪問記 その3！～大雨にも負けず、熱波にも負けず、初夏～](#)

[第4回 大阪・関西万博 2025 訪問記 その4！～夕方の大阪湾の海風に癒されて～](#)

[第5回 大阪・関西万博 2025 訪問記 その5！～秋の気配はまだ見えませんが...～](#)

■日本館

日本館は、今回の万博主催国のパビリオンです。万博テーマの「いのち輝く未来社会のデザイン」を具体的に発信していました。同館では「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、「ごみを食べるパビリオン」として、会場内の生ゴミ利用のバイオガス発電、日本独自技術による「循環社会」を提案していました。スタッフのユニフォームは、着心地、運動機能、暑熱対策などに加え、環境に配慮した素材を使用し、会期終了後にリサイクルすることが予定されているとのこと。また、CO₂ を杉の 12 倍吸収する藻類活用の紹介もありました。なお、パビリオン外観の木材は、万博終了後に日本各地で建物として再利用できるよう、解体しやすいように工夫されているとのことでした。



パビリオン外観



夜のパビリオン



藻類活用の提案



ユニフォーム/パッケージ/生分解プラスチックの提案

■パソナ ネイチャーバース

パソナグループの出展です。鉄腕アトムとブラックジャックをキャラクターイメージにして、からだゾーン、こころ・きずなゾーン、いのちの歴史ゾーンを形成していました。IPS 細胞や心筋シートも展示されていました。



パビリオン外観
(心臓の螺旋をイメージ)



立体動画によるパフォーマンス



心筋シート (心筋再生
治療を目的とする)



生命の歴史展示
(古代アンモナイト)



遠隔制御による
ロボットパフォーマンス



未来の眠り
体験(筆者)



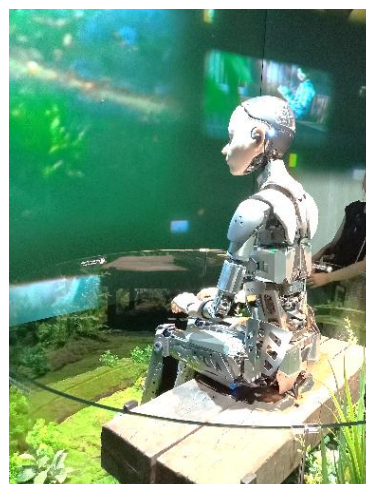
販売 Tシャツデザイン

■いのちの未来館

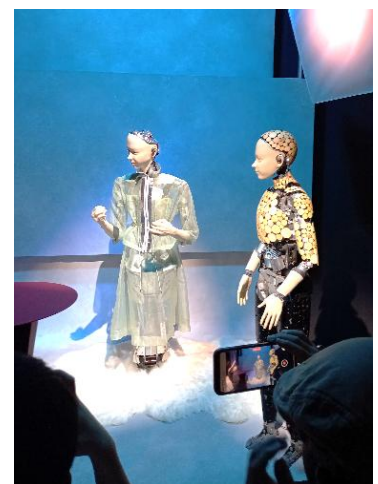
同館では、ロボット工学の石黒浩氏(大阪大学)提案の 50 年後、1000 年後の未来に登場するアンドロイド・ロボットなどを紹介していました。



パビリオン入口



アンドロイド・ロボット達の紹介



《訪問記の終了にあたり》

大阪・関西万博 2025 訪問記も今回が最終回です。筆者は万博開催中に 15 回、万博会場を訪問しました。猛暑にも負けず、自分なりによく頑張ったと思います。その頑張りの原点は、やはり 55 年前に開催された大阪万博のかすかな記憶であったと思います。

そもそも今回の万博の意義は何だったのか、以下の 4 つが挙げられます。

1. 国際的意義

グローバルな課題解決の場として、気候変動、医療・健康、食品、サステナブルな都市など、今日世界が直面する課題に対して、新技術や新システムを提案し、グローバルなコンセンサスを深める。

2. 経済的意義

万博の施設建設や観光などで、関西経済を活性化すること。また関西地区を国際的に紹介できる。

3. 社会的意義

会場は、モビリティ、AI、環境負荷低減技術、スマートシティなど社会実験の場となりうる。

筆者が 55 年前の万博で体験したように、未来を担う子ども達に、万博 2025 の記憶を提供できる。

4. 文化的意義

日本の食・伝統技術、伝統芸能など、わが国独自の文化を世界へ発信する。

総合すると、今回の万博は、現在や未来における地球規模のさまざまな課題に対応できるように、世界各国からさまざまな提案がなされ、解決へのきっかけとする場ではなかったかと考えます。

ほぼ半年にわたり、「訪問記」をご覧頂いた皆様に感謝します。

今回の万博のさまざまな提案がやがて実用化されることを祈念して、本寄稿を終了します。

清嶋 展弘

アパレル散歩道 バックナンバーと索引は[こちら](#)からご覧になれます！

【発行】一般財団法人ニッセンケン品質評価センター 事業推進室 マーケティンググループ

E-mail : pr-contact@nissenken.or.jp URL : <https://nissenken.or.jp>

※当コラムの内容、テキスト等の無断転載・無断使用を固く禁じます